

中学校完全給食実施等検討特別委員会
西東京市中学校完全給食視察報告

日本共産党 大村洋子

視察日時 2017年4月26日(水) 8:30~17:20(移動含む)

【当日のタイムテーブル】

- ・西東京市保谷第一小学校(親校)でつくられた給食を西東京市青嵐中学校(子校)へ搬送する作業から視察。
- ・青嵐中学校(子校)に搬送された給食コンテナを搬入する作業を視察。
- ・給食を試食
- ・給食コンテナが各教室前に配置された状態から、中学生が配膳し喫食の様子を視察。
- ・田無庁舎4階 第3委員会室にて説明を聴取し質疑応答



・トラックは指定管理者のもの 1 トラックにドライバー1人、作業員 1人。

2人の作業員はトラックに搬入し、着いたら搬出し、教室の前に配置し、その後はトラックで待機。昼食は自前。中学生たちの給食片付けが終わると、各教室前からトラックにコンテナを搬入。親校に運ぶ。

・親校から子校までの道は狭く、行き違いがかなり厳しい道だった。トラブルは起きないのだろうか。そこが気がかりに感じた。

・配膳も喫食も特に問題は見られなかった。

・お弁当の子が1人見受けられた。

・西東京市の親子給食は全員喫食ではなく、選択制だった。(学期ごとの申込み制)

・親校の調理場では最初に子校の給食をつくって、2回目に親校の給食をつくる。親校の給食の食器を先に洗い、時間差できた子校の給食の食器をその後洗う。

・調理場は当然「ドライシステム」ではなかった。

・移動の際の保温保冷食缶はかなりお高いらしい。

・校内での移動の物は通常の食缶だった。



西東京市の完全給食の始まり方は、運営審議会が立ち上がったのがはじまりだったようだ。なぜ、審議会が立ち上がったのかその経緯を詳しく伺いたかったが、「近隣自治体がみな完全給食をおこなっていたことから、ウチでもやらないとという気運が起こった(表現は大村)」とのことで、横須賀市のように明確に住民運動が起こったとか、市長選の公約として施策が浮上(大村の受け止め方)というような感じではなかった。

確かに、東京都江戸川区の場合は、私が中学生の時(1977年)には既に自校給食だったから、23区内はかなり早い段階で完全給食が設置されたのだと思う。一方、23区外にまでは行き渡らなかったということだろうか。

視察で得たことを今後の委員会での議論に役立たせていきたいと思う。